



大國魂神社と杉山神社は当初から深い関係にあり、大國魂神社に祀られている八神の一つ六之宮の杉山大神は、西八朔の杉山神社の祭神だとされています。

これは江戸時代末の六所宮の神主だった猿渡盛章の調査によって定められ、以来西八朔の杉山神社と大國魂神社との関係は今に続いています。

神事に参列し十月一日の杉山神社の例大祭には府中の大國魂神社から神職と六之宮や五

古くは杉山神社の神輿が府中六所宮まで担がれていったという伝承もあります。

武蔵国にあつては格段の由緒を持つ杉山神社と府中六所宮とは、地域の人たちの深い繋がりによつて伝統がささえられているのです。

府中郷土の森博物館 学芸係長 小野一之氏謹著



氏子会員募集

ご近所の方やお知り合いの方にお薦め下さい。

こころのふるさと(パワースポット)を持ちませんか? ご希望の方は

氏子総代 伊藤勝己 045-931-4897 (TEL/FAX) まで

延喜式内社 武蔵總社 六之宮
杉山神社

武蔵總社

大國魂神社

(東京都府中市宮町)

一の宮

小野神社

(東京都多摩市一宮)

二の宮

二宮神社

(東京都あきる野市二宮)

三の宮

氷川神社

(埼玉県さいたま市大宮区高鼻町)

四の宮

秩父神社

(埼玉県秩父市番場町)

五の宮

金鑽神社

(埼玉県神川町二ノ宮)

六の宮

杉山神社

(神奈川県横浜市緑区西八朔町)



杉山神社の分布

杉山神社は現在の横浜市・川崎市を中心に多数ある神社の名前です。ほかには町田市・稲城市にも数社ありますが、いづれも鶴見川とその流域に多く分布しています。

しかも全国的に見てもこの地域にしか存在しないのが杉山神社です。かつて武蔵国(今の東京都・埼玉県・神奈川県)の大半がその範囲)のなかで横浜の都筑郡・橋樹郡・久良郡とよばれていた地域です。

神社の数は江戸時代末期に編集された『新編武蔵風土記稿』によると七十二社ですが、その後の合社や名称変更などで、現在は四十余りの杉山神社があるようですが、緑区西八朔の杉山神社は、その中でも代表的な杉山神社の一つです。



杉山神社の歴史

その歴史は古く、すくなくとも千二百年ほど遡ることが出来ます。

平安時代の公的な歴史書『続日本後記』の承和五年(八三四年)二月二十二日条に、武蔵野国都築郡杉山神社が靈験により官幣(神への公的な献納物)にあずかったと言う記事があります。

同じく嘉祥元年に(八四八年)五月二十二日条には位のなかった杉山神社に従五位下を授けたという記事があります。

また、延長五年(九二七年)編集の『延喜式』には国家的な祭祀にあずかる神社の一覧表(これに掲載する神社のことを式内社とよびます)がありますが、武蔵国四十三社のなかに都筑郡の杉山神社の名前が見えます。



橋樹郡・久良郡には式内社がありませんので、杉山神社は三郡を代表し、国家的にも知られた重要な神社だったことがわかります。祭神は、大和武尊や五十猛とされていますが、確かなことは不明で、もとは杉の生い茂った山そのものを祀った神社だったのかもしれませんが。

杉山神社の本社

数ある杉山神社、平安時代の歴史書に載る杉山神社はどこなのか。古くからいろいろな説が出されてきましたが、なかなか結論は出ません。

横浜市都筑区中川町、同区茅ヶ崎町、同区勝田町、港北区新吉田町などに所在する杉山神社が候補として挙げられている中、西八朔の杉山神社は最も有力な一社です。八朔が平安時代の『和名類聚抄』に出てくる「都筑郡針所郷」や鎌倉時代の古文書にある国衙領(武蔵国府の直営地)の「八佐古」に通じる古地名であることなどが根拠とされているのです。

